

いと、おかし。

垣根のない大学

*Open  
gate*



〒781-8515 高知県高知市池2751-1 tel.088-847-8700(代表)



# 働きながら学べる新コース「夜間主」とは？

## 新しくなる高知県立大学。これから始まる、働きながら学べる『夜間主コース』についてその魅力や取り組みをご紹介します。

**広報委員長** (以下:広): 全国で、働きながら夜間に学べる大学が次々に姿を消す中で、高知県立大学は文化学部で夜間主コースを設置することになりました。その目的と、思いをお聞かせください。

**学長** (以下:学): 高知県公立大学法人の中には高知県立大学と高知短期大学があり、60年の歴史を持つ高知短大は社会人が働きながら学べる場という大きな役割を担ってきました。文部科学省も社会人が学ぶことができる政策を各大学へ働きかけており、本学でも「働きながら学ぶ人たちの道を開く」ために平成26年度より新たに社会人入試を導入しています。しかし、社会人入試は昼間の学びを基本としておりますので、社会人が働きながら学ぶ機会の充実を図る上で、その役割を担ってきた高知短大60年の伝統とノウハウを引き継ぎ、時代の変化に合わせて発展的に移行した学びのかたちとして、高知短大を発展的に解消し今回4年制大学に夜間主コースを設置する運びとなりました。

**広:** 夜間主コースの設置にあたり、県はどんなことを期待していたのでしょうか。

**事務局長** (以下:事): 今回の県立大学改革は、平成20年に尾崎知事によって示された、「県立大学改革プラン」が始まりでした。これは永国寺キャンパスを社会貢献をする「知の拠点」とし、社会人の学びの機会の充実と県内高校生の進学機会の拡大を図るもので、その後平成23年に県立大学から文化学部の学びの領域を広げること、定員を150人に拡充し、そのうち

30人は働きながら夜学できるようにするという提案がありました。その内容は、県内の高校生の学びの機会の拡充と、社会人教育を充実させたいという県の大学改革の方向性と合致するものでした。県としてもより専門的で幅広い教育を受けることができることを期待しています。

**広:** 発展的解消する短大機能を県立大学が継承するとは具体的にどのようなことなのかお聞かせください。

**学:** 高知短大の学生には働きながら学ぶ意欲のある方や、学ぶことの充実感を重んじている方が大勢いらっしゃいます。地域教育研究センターを設置して、履修証明プログラムや県民開放授業の実施など、学びの意欲がある方をバックアップしていきます。また、短大生に長年寄り添ってきた教員が文化学部へ移籍することで、夜間主コースの学生の学習環境が整うと思います。

**広:** 梶原先生は、高知短大で働きながら夜間に学んでいる学生たちと身近に関わる中で、その意義をどう考えていますか。

**梶原先生** (以下:梶): 働きながら学ぶことには二つの意義があると考えています。一つ目は「学び直し」です。大学はこれまで培ってきた経験や知識を体系的な知恵として整理し、再確認できる場所です。特に、最近の学生は仕事以外の新しい世界のことを学びたいという要求が強いように感じます。職場も社会も流動的になってきており、この社会の変化に対応していくために、自らの視野や世界を広げ、引き出しを増やすことができる学びが求められるように思います。二つ目の意義は大学が「結び目」になっているということです。働きながら学ぶ場というのは、職場や地域だけでなく、広く社

会に開かれた人生を送りたいと考える人にとって個人と社会とを結び付ける場として機能してきました。夜間の教室には年代も職業も住む地域も異なる人が集まっているので、教室が多様性を持った一つの小さな社会のようになっています。ここでは、社会人の学生はただ学ぶだけではなく、他の学生に自分の生き方、職業、体験を教えることができる存在となります。自分の生き方や、やってきた仕事と客観的に向き合い、他の人の暮らしとのつながりの中で捉え直すことで社会における自らの使命や目標の位置付けを確認できる場所としての意義があるように思います。

**広:** 高知短大の教員として、学生たちどのような支援をされているのでしょうか。

**梶:** 学生の「学びたい」という熱意に応えることを考えています。例えば講義のない日に「どうしても理解できないところがある」と電話がかかってきて、その意欲が嬉しいから、学生の職場へ飛んで行って、仕事の合間の休憩中に議論することもありました。学内では自主的な勉強会も盛んに開かれていますので、お呼びがかかると駆けつけています。学生の意欲に、教員側の熱意も引き出される感じですね。

**広:** 来年4月にスタートする文化学部の夜間主コースではどのような学びができ、どのような人材が育つのでしょうか。

**学:** 自らカリキュラムを選択できるのが本学夜間主コースの魅力です。学びに対する強い熱意を持った高知短大の情熱にあふれた指導を受け継ぎ、今後も社会に有為な人材、とりわけ高知県に根差した仕事をしてくださる人材を育成していきます。

**広:** 大学としてカリキュラムや入試について働きながら学びたい人が入学しやすいような工夫はされていますか。

**文化学部長** (以下:文): 夜間主コースは平日の夜6時から9時10分の間で毎日2時間開講します。昼間の学生同様4年間で卒業することができます。文化学部の学びは、言語・地域・観光・法学という領域で人文社会科学を研究し人間社会を探求するものです。夜間主コースでは言語文化系・地域文化創造系を総合的に学ぶ、「文化総合系」の学びができるカリキュラムとしました。入試は、県内推薦入試と社会人入試の2種類を設けました。働きながら学ぶ意欲のある方のためにもどちらもセンター試験は課しません。推薦入試は調査書と面接、社会人入試は小論文と面接で選抜します。また、社会人入試は、社会人の方の受験の機会を増やすために11月のA日程と3月のB日程の2回実施します。

**広:** 事務局長は高知短大で働きながら学ばれた経験がありますね。その際どのような喜びがあり、ご苦労がありましたか？高知短大での学びは、どう役立っているのでしょうか。

**事:** 18歳で県庁へ入庁したと同時に高知短大へ入学しました。体力や気力が有り余っていた青春時代でしたから(笑)、夜に学べる場があるというのはありがたかったです。特に法律に関しては、民法や行政法など仕事に活かせる学びが多く、すぐに頭に入りました。経済の授業も、社会のいろいろな事象を理解するのに非常に役立ちました。高知短大での学びは、現場や実生活にすぐに活用できるとともに視野を広げ、人間性を豊かにしてくれるものでした。高知の多くの社会人の知的好奇心を満たしてきた高知短大が、県立大学という4

年制大学の夜間主コースに生まれ変わることで学士の取得も可能になり、3年次編入学という新たな道も同時に開けます。

**広:** 3年次編入学への県民の期待は大きいのではないのでしょうか。

**文:** はい。夜間主コースの平成27年度の始まりと同時に初年度から3年次編入学の募集も開始して、2年間で卒業することもできるようにします。

**広:** 4年間というのは長丁場になると思います。文化学部としては学生にどのようなケアをされるのでしょうか。

**文:** 夜間主コースの学生は入学するとまず1回生の段階で文化学部で学ぶ上で必要な基礎的能力を身に付けるために「基礎演習」を受講してもらいます。「基礎演習」の受講によって文化学部での学びが順調にスタートできるようになるはずですが、夜間主コースでは各学年に学年担当の教員を配置し、丁寧に学生の指導に当たりますので安心して入学してください。

**学:** 高知短大時よりも少人数となりますので、教員の指導やサポートの目や手が十分に行き届くことになるでしょうか。

**広:** 経済的な面などでどのようなケアをされますか。

**事:** 夜間主コースの新設を受けて、先行して夜間主コースを実施している他大学を参考に、授業料は267,900円、入学金も県内生であれば70,500円と、共にこれまでの県立大学の半額とすることが決まっています。また、社会人としての勤務のご都合や通

学状況を考えますと、4年間で本当に卒業できるのか、不安に思われる方も多いと思います。そこで、4年間分の授業料で最大8年まで在学することが可能な長期履修制度を導入することとしています。

**広:** 高知県の知の拠点として機能する永国寺キャンパスで生涯学習の機会が充実していくことを夜間主コースにも期待できますか。

**学:** もちろんです。夜間主コースは昼間の授業に比べて学生の数が少ないので、社会人の方にもより参加型の学びをしていただけたと思います。高知県立大学は「県民大学」ですので県民の皆様には大いに活用していただきたいと思っています。

**広:** 本日はありがとうございました。

4人の熱い思いが  
たくさん聞けました。



■進行役  
清原 泰治  
広報委員長



土居 稔  
事務局長



南 裕子  
学長



岩倉 秀樹  
文化学部長



梶原 太一  
高知短期大学講師

# 変わる、始まる、2015年

仕事と学業  
両立できる！

学びのカタチいろいろ

つづく



# 「社会人」と「学び」の垣根をなくします！

学べる機会 Power UP!

社会人向けの学びの機会をたくさん設けました。

選べる!

学びのチャンネルはひとつじゃない!

働きながら

「平日の夜を中心に4年間しっかりと学びたい」

夜間主コース

仕事が終わって  
から行ける!



平日夜間に学び、仕事と勉強をうまく両立させながら最短4年間で卒業できる社会人のための学び方があります。

P.1-2、6

●主に、平日の午後6時からの授業で文化学部の学びを総合的に身に付けられる!

入試はないけど

「大学生気分」で学ぶ

県民開放授業

公開講座

本学が開講している講義を、学生と一緒に聴講できる“県民開放授業”。“公開講座”では、専門的かつピンポイントなテーマを扱います。

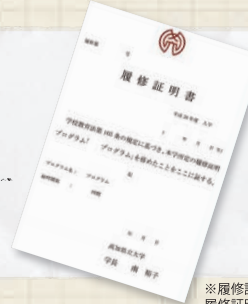
P.7-8

キャリアアップのために

「興味のあるものを集中的に学びたい」

履修証明プログラム

科目等履修生制度



テーマに沿った科目群を120時間以上受講し、履修証明書が発行される“履修証明プログラム”や、興味のある科目に絞って履修し単位を修得できる“科目等履修生制度”があり、スキル向上に役立ちます。

P.9

※履修証明プログラムの履修証明書です。

もう一步踏み込んで

「今の学びを深めたい」

3年次編入学

大学院

学びのステージをより深めたい、追求したいテーマを見つけた方のために。

P.10

もう一度、学生として

「専門的にしっかりと学びたい」

社会人入試

文化学部

看護学部

社会福祉学部

健康栄養学部

すべての学部で社会人のための枠を設け、新たに学士を取得できる制度があります。

P.11-12

看護学部・社会福祉学部・健康栄養学部は平成26年度入学生から、文化学部でも平成27年度入学生から社会人入試枠を設けました。

プロだからこそ

「最新の知識・技術を学び続けたい」

リカレント講座

より専門的に、高いレベルでの学びを深めるためのスキルアップ講座等、たくさんの学びの機会を設けています。

P.13-14



文化の学びはここ！

## 垣根のない大学へ。 地域に開かれた新しい大学のカタチ

「知の拠点」永国寺キャンパス 2015年4月 再整備

永国寺キャンパスでは、校舎や図書館、体育館を新築するとともに、キャンパス中央に地域交流広場を設け、県民にとっても親しみやすく垣根のない、開かれたキャンパスを目指します。



イメージ図

### 図書館

県民の集える図書館とするとともに、学生・教職員の利用を活性化するため、学びの共有スペースとしてのラーニングコモンズの機能を中心とした整備を行います。



イメージ図

### 体育館

体育館は、災害時には近隣にお住まいの方が避難できるよう、自然災害への対応に配慮して整備します。



イメージ図

### 本部・教育研究棟

学生の学びの中心である本部・教育研究棟（6階建て）の1階部分に地域開放教室（42人収容）を2教室整備し、公開講座やセミナーなど、県民の皆様の学びの場を提供します。



イメージ図

### 地域連携棟

開かれたキャンパスの玄関口として、県民の課題解決にご利用いただける施設を目指します。

## 永国寺キャンパスの再整備と同時に、 社会人の学びもパワーアップ！

働きながら夜間に学び「学士」を取得！  
— 文化学部 文化総合系 —

How to “夜間主”

夜間主コースには2つの入試方法があります。

調査書  
+  
面接で選抜

推薦入試（募集人員：10人）

以下の6項目に当てはまる方は出願可能です！

- ・高知県内の高等学校等を卒業（修了）見込みの者
- ・調査書の評定平均値3.8以上の者
- ・入学後就業しながら勉学する意思がある者
- ・学校長が推薦する者
- ・文化学科に対し適性を有する者
- ・合格した場合は、必ず本学に入学する意思を有する者

小論文  
+  
面接で選抜

社会人入試（募集人員：20人）

大学入学資格を有する方のうち、以下のどちらかに当てはまる方は出願可能です！

- ・社会人経験を1年以上有する者
- ・現に就業し又は就業の意思があり、入学後就業しながら勉学する意思のある者

短大卒の方には3年次編入学試験があります。

平日、午後6時から午後9時10分まで  
4年から最大8年でしっかり学びを重ねます。

4年次

コンピテンシーの統合

領域科目 生命倫理と法、ワーク・ライフ・バランスと法、地域産業論、地方自治論、日本思想史、国際関係論など

エッセンシャル科目 課題研究ゼミナール

3年次

専門性の深化

領域科目 文化政策論、社会保障と法文化、現代法思想論、地域づくり論、地域分析論、観光文化論、比較日文学、近代文学講読など

エッセンシャル科目 課題研究ゼミナール

1～2年次

リテラシー能力と文化研究のための視点を養成

領域科目 日本文化論、地域文化論、中国文学講読、文化と人権、観光学総論、日本語学講読など  
キャリア形成科目、エッセンシャル科目、リテラシー科目

### 費用について

入学科

県内生	70,500円
県内生以外	141,000円

授業料

前期	133,950円
後期	133,950円

気になる費用は  
こちら！

学生課 入試担当  
小笠原 碧さん

Let's  
チャレンジ!

